

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1123	(H.24)No.	1123
-----------	------	-----------	------

事務事業名	旧細川邸やなせ宿利活用推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	都市計画室	我山博章	63-7764
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 20 年度 ~ 平成 23 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	3	市街地整備
	小 施策	1	中央部のまちづくり
	重点施策コード	4-3.魅力ある市街地の形成	

2. 予算区分

会計区分	事業コード	410801
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	ふるさと雇用再生特別基金事業
項	都市計画費	(小事業名)
目	都市計画総務費	旧細川邸やなせ宿利活用推進事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>名張の原風景のひとつである初瀬街道沿いの町並みは、当時の面影を残す地域の歴史資源であります。町屋改修の規範として、また名張地区既成市街地に訪れるきっかけづくりや来訪者をおもてなしする場として必要な事業(情報発信、飲食、物販等)を実践することを目的とするやなせ宿の維持管理を行う。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>やなせ宿の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の積極的な情報発信に関すること。 ・地域住民や来訪者の交流、集客の向上を目的とする事業に関すること。 ・地域物産の振興に関すること。 ・町屋としての空間を活用し、魅力を高める活動に関すること。 ・自主的かつ自立的なまちづくりの推進に関すること。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)				
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理		
主な事業の実績・計画	・やなせ宿企画運営委託料 2,539千円		補助金・交付金				
			その他 ()				
			平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)		
			直接事業費	2,539千円			
			財源内訳(千円)				
			国庫支出金 県支出金 2,539 地方債 その他() 一般財源 (0) 0	0	0	0	0
人工数							
職員	0.20人						
臨時職員等	0.25人						
概算人件費	(0千円) 1,885千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
+ 総事業費	(0千円) 4,424千円	0千円	0千円	0千円	0千円		

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
活動指標	目標	やなせ宿の入館者数(延べ値)	人	-	-	-	-	85,100
	実績			17,000	35,400	55,400	73,800	
成果指標	目標	中心市街地に魅力があると感じる市民の割合	%	-	-	-	-	60.0
	実績			57.2	53.8	50.0	48.2	
活動指標	目標	再び、名張地区既成市街地を訪れてみたいと感じた人の割合	%	-	-	-	-	39.0
	実績			36.0	75.0	76.7	61.5	

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
昨年度は、若干入館者数が減少したものの、年間2万人前後の入館・施設利用が定着してきており、概ね良好に利用が図られている。	より自主的な施設の利活用を促進するため、指定管理者制度導入の協議・調整を進める。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
平成22年度に名張まちなか再生委員会が解散し、まちなか再生プランの残事業の事業化は困難な状況であったが、昨年名張地区まちづくり推進協議会が策定した地域ビジョンにおいて、再生プランの考え方が継承されるなど、再生プランに変わる新たな計画、再生委員会に変わる新たな推進体制が築かれつつある。	名張らしさを活かすまちづくりを行い、一定の収益を生み出すことにより、長期に継続して運営できる施設としての管理体制が必要である。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項